

こんにちは

NO. 11

日本の学童ほいくニュース

2006年 2月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

1月号の特集は「歩み続けて40歩・第40回全国研究集会」です。全国研で元気をもらった人、目からうろこの落ちた人、様々と思います。今年は愛知県で10月28～29日に行われます。今年もみんなで参加しましょう。

今月号の一押し

その1

特集・歩み続けて40歩・第40回全国研究集会 夕方子どもたちの居場所

作家 重松 清

作家の重松清先生が、学童保育があって自分たち親も娘たちもとてもとても助けられたと語ってくださった記念講演。「午前10時、日本全国の学校で、何千万人の子どもたちがみんな一斉に西を向いて座っている」それってすごいことですね～。重松先生のおっしゃるように、正解は一つではなくいくつの価値観があるということ伝えていかなければと思いました。最後に、学童保育は「評価しないしかししっかり愛しているよ」という場だと語ってくださりとてもうれしかったです！！

その2

私のとっても大切な場所「学童保育」

札幌市じゃりん子パーククラブ保護者 菊地千佳子
仕事をしながらの子育てでは本当に大変なこと。みんなギリギリのところまで生きている。「出会った人たちが一緒に泣いてくれ、話を聞いてくれ、飲んでくれ、ほめてくれ、『そんながんばらなくていいよ』と言ってくれ、子どもたちに声をかけ見守ってくれたから今こうしていられる」と菊地さんは言います。親にとって大切なのは人と人とのつながり、そして、仲間なのです。共同の学童保育から公設に切り替えられる際、3人の指導員を守れなかったこと。その傷が10年経った今でも癒えてないという悔しい、やるせない思い—菊地さんはそこに自分の原点があると言います。「指導員を路頭に迷わせてはいけません。たった一つのクラブもなくしてはいけません。」と。菊地さん、これから札幌市連協会長として熱い思いを胸にがんばって行ってください！！

2月号の特集

第40回全国研究集会

記念講演「夕方子どもたちの居場所」

作家 重松清

特別報告「私にとって大切な居場所『学童保育』」

札幌市じゃりん子パーククラブ保護者 菊地千佳子

「本当の成功はこれからの運動に」

神奈川県学童保育連絡協議会 小神長次

「全国研で『明日への勇気』が生まれる」

助言者 埼玉県養護学校教諭 竹脇真悟

「参加者の『愛とロマン』を感じて」

講師 横浜市小学校教諭 三輪睦雄

「参加者の声」



「元気だあいち」を胸に」

愛知県学童保育連絡協議会事務局長 大鹿正喜

今月の都連協人

特集 第40回全国研究集会「参加者の声」

世田谷区 学生

文京区 保護者

葛飾区 指導員

江戸川区 指導員



ほいくニュース
について

- ① ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。
- ② 作り手も募集しています。

今月号の一押しその2

その1

子どものひろば

全国の子どものひろばこはまってしまいました！！

津島どろんこクラブの古川ひろきくんの家の「ナメクジ事件」のひとコマ。「キャー」とさけび続けるお母さん。その声にびっくりして泣き続ける弟。あきれてナメクジをつまんで捨てにいってお父さん。「そのキャベツでつくったやきそばはなんだかまずかった！！」に思わずクスクス

南永田学童クラブのくるみちゃんの書いた「かくどうのすきなところ」もとても可愛らしかった！！

- ④おうちみたいこのんびりできる。
- ⑤先生とともだちみたいい話ができる。
- ⑦しほちゃんはピアノ、わたちゃんのはてづくりのあみもの、こもちゃんのは字がうまい、おおちゃんはりょうりがうまい。
- ⑩てづくりのおやつがほっぺたがおちそうぐらいおいしい。
- ⑪じぶんのロッカーがある。
- ⑫ともだちの名前に〇〇さんと言わなくてもいい。
- ⑰むぎちゃがのめる。学校は水どうの水しかのめない。

指導員の私はとても勉強になりました。だって、学童保育の大切なこといっぱい書いてあるんだもの！！

その2

子どもたちのまなざし

「からだじゅうで喜びの声を上げる」

大阪市立加賀屋小学校教諭 土佐いく子

土佐先生のお話、泣けました。子どもたちの成長こはやっぱり友達の力があるんですね！「歩行は困難」と医者に言われた育世ちゃん。そんな育世ちゃんでしたが、友達と一緒に何でもやりたいという要求がいっぱいあって、それが育世ちゃんの意欲と行動をつき動かし、とうとうある日の体育の時間に、39…50…100…200…300…

405歩！育世ちゃんのがんばりに子どもたちが集まってきて、一緒に歩数を数えます。その声を聞きつけて職員室の先生方もとび出してきて…。(この辺からうるうる…)そして子どもたちは校長先生にお願いをします。「月曜日の朝会で育世ちゃんが歩いたことをみんなに言ってほしい」もうここで涙がポトポト…。なんてあったかな子どもたち、なんてあったかな学校でしょう！！



その3

仕事・職場のいま

父無理せず、リキまず、前進前進！

広島市三篠留守家庭子ども会保護者 下家智代
下家さんのパワーにもう脱帽！！次女の出産から3ヶ月で復職した際「お前が産休を取ってまで戻ってくるような人材か！」と言った上司。そのもとでがむしやりに働いた下家さん。何と今ではその上司が困った場面で一番力になってくれる人なのだそうです。でも下家さんは「本来の子育ては、私のように家族と子どもたちに負担をかけながらこなすのがよい方法だとは思いません」と語ります。そして、勤務時間の短縮制度を、三歳までから就学前まで利用できたら、と願っているそうです。上司の心を変化させたパワーで、一步一步前進あるのみですね。

次号予告3月号

特集・学童保育の「質」を考える

- ・座談会「よりよい学童保育とは」
- ・親の願いと学童保育
- ・学童保育の生活で大切にしたいこと 指導員
- ・私が学童保育の大切さを実感したとき

ずいそう

日比野克彦

講座・若者たちの「今」を知る最終回

中西新太郎

子どもたちのまなざし

土佐いく子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/子育て日記/わたしは指導員/たのしいな/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか

